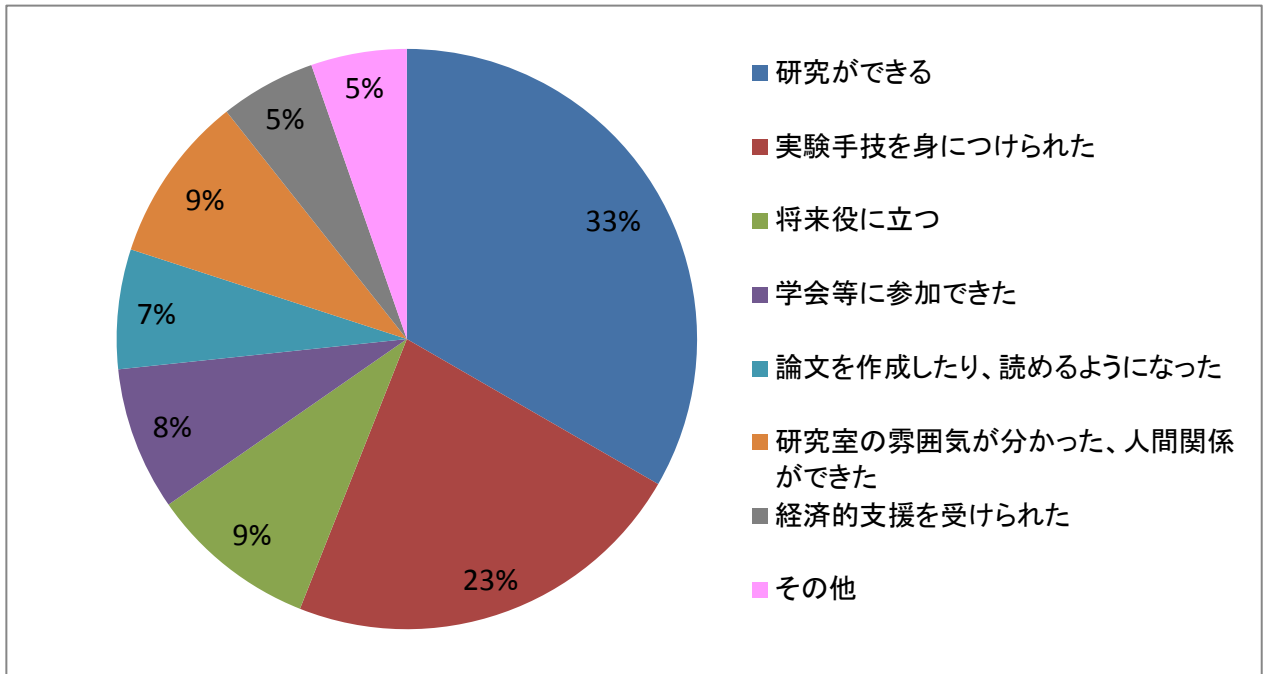


問3 MD-PhDコースで実習を行って良かったと思う点・役立った点



詳細

一文の中に複数の要素が含まれるものもあるので、分類せず全てを回答順に羅列する。

青は研究ができる

赤は実験手技を身につけられた

緑は将来役に立つ

紫は学会等に参加できた

水は論文を作成したり、読めるようになった

橙は研究室の雰囲気が分かった、人間関係ができた

灰は経済的支援を受けられた

桃はその他

- まだ日が浅いのでなんとも言えませんが、研究室とはどんなところで、大学院生はどんな生活なのかわかっただけでも大きな収穫だと思います。自分にも研究の一端を任せてもらえること、論文に名前を載せてもらえることもよかったと思っています。
- 普段知り合えなかった先生方との交流を機会に基礎の研究者がどんなことをしているのか参考になった。
- 研究費や学会に行く費用の補助がある点
- 論文を読む機会が多くなり、英語で書かれた論文はとりあえずすらすら読めるようになった。
- また、いくつかの実験手技を身につけることができた。臨床の勉強でも役に立つことが多い。
- 研究を自分の手で行えること
- いい意味で制度が曖昧で緩いので、自由度がきくところ。反対に、学生間で取り組み具合がことなるのに同じようなメリットが得られることの不公平感がある。
- 研究についてはやくに触れることができた。
- 将来の選択肢に、基礎研究という道が増えた。
- 同世代の先生方が多数在籍しているので、とても居心地がいい。
- 大学のお金で学会に行くことができる。
- 論文がどのように書かれていて、研究がどのように進められているか、間近に見ることができ良かったです。研究室に通ったことでMDが研究をする意味(理学部や農学部のPhDと違ってできること、できないこと)を考えるきっかけとなり、将来の進路を決める上で非常に重要な意味があったと感じています。
- 好きな分野をとことん研究できる点
- 基本的な実験の手技を学べたこと
- 普段の学習以外の医学を学ぶことができるのは良い刺激になっているし、現在の研究テーマが面白く、心の拠り所となっている。
- もし大学院に行く時には3年で卒業できる点
- 私の所属している教室では、在籍する先生方や大学院々と同じく、部もジャーナル・クラブでの発表やプロGRESS・リポート提出が義務付けられています。それに伴って実験手技も適切な

指導を受けており、モチベーションの維持はもとより今後の研究内容発展に期待を持って取り組むことができています。

- 研究に早期暴露できる点
- 研究や勉強に濃密に取り組む事ができるという点が、実習を行って最もよかったと思う点です。また、学会の交通費や研究費を支給して頂き、大変感謝しております。
- 基礎研究の手技だけでなく、セミナーでの発表等が経験として非常に良かった。
- 実際に研究を行っている先生方について専門的な研究をやらせていただき、普段の講義では得られない貴重な経験ができた。
- 研究の基本的な技術も身につけることができ有効だった。
- 研究者という職業がどういうものかわかり、研究者になった場合、どういうキャリアパスを積んでいけるかをとらえられた。
- 実験そのものが楽しいので、とても貴重な経験をさせていただいている。
- 普通の学生では参加できない会議への参加
- 興味のある分野の研究ができる。
- 研究とはどういうものであるかということが分かったこと
- 実験の大まかな流れ、その後のまとめ方がわかった。
- 基礎臨床を問わず研究について興味が湧くようになった。
- 手技を丁寧に教えてくれる。
- 研究会に参加させていただいたり、授業では学べない多くのことを教えていただけた。
- 実験の基本手技を学ぶことができた。
- ポスター発表や論文に少しだけ親しむことができた。
- 技術が身についた。
- 実験の手技や最新の研究について学べる点
- 研究室の雰囲気をつかめる点
- 実験の手技、まとめ方・発表の仕方を学ぶことができた。
- 興味のある分野を自分で学べる。
- 研究の手技を学べたり座学では学べないことを学べた。
- 学会で他大学の学生と研究に関して今後の進路について語る事ができた。
- 研究と一言で言っても実際どういうことをしているのか知らなかったのが、実際の研究の現場を見ることができ、自分も実際に頭と手を動かしながら研究を行える点
- 研究の基本、考え方がわかった。
- 統計学的な見方を身につけることができた。
- 実験手技が上達したり、研究室の方たちとお話しできる点
- 授業では学べないこと（病理学についてはもちろん、染色法や統計、文献の読み方なども）を学べたり研究室を通じていろいろな人と交流できる点が良かったと思う。
- 学会参加費用を援助してもらえるのもとても助かった。
- さまざまな実験手技の習得や実験内容にかかわる周辺知識の学習ができる点
- 臨床講義が始まると、基礎医学から疎遠になってしまいがちだが、研究の考え方とかがとても勉強、刺激になる。
- 授業だけだと研究がどんなものかわからないので、研究がどう行われているのか、発表会や論文作成をどう行うのか少しわかった。
- 現在のうちから実績を残せる点
- 将来若いうちにある程度の功績キャリアを持てる点
- 学会に行けたこと
- 大学院の講義や催し物に参加できたこと
- より実験を行いやすくなったこと（普通の医学生にできない体験ができた）
- ポリクリの時、がんの治療などを病理診断に基づいて進めている際、その概要を理解しやすかった。がんの分類だけでなく、良性疾患の病理についても興味を持つことができた。
- 知識や手技を学べたのはもちろん、学会での発表も行うことができ、経験を積むことができた。
- 知識が増えポリクリでもそれが活用できる点。
- 論文などに早いうちから触れておくことができる点
- 人間関係ができる点
- 研究の考え方や実験手技を学べる点
- 実験手技を覚えられた。
- 研究内容を理解できた。
- 結局行かなくなってしまうので何とも言えない。
- 研究に触れるきっかけとなった。